



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境点検制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト	合計
①参照値	10	10	36	0	0	56
②建築物の取組み	5	10	40	0	0	55
③上記+②以外の	0	0	40	0	0	40
④上記+	0	0	40	0	0	40

0 46 92 ($\text{kg-CO}_2/\text{年} \cdot \text{m}^2$)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

環境品質	スコア
音環境	3.0
温熱環境	3.1
光・視環境	3.0
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性	耐久性	対応性
2.9	3.0	2.5

Q のスコア = 3.1

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア = 3.4

Category	Score
生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0
Q3平均	3.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

Category	Score
建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

Category	Score
水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.2

LR のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3 のスコア = 3.1

Category	Score
地球温暖化	3.9
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

総合	
白壁筋という名古屋有数の高級住宅街に堂々とした佇まいを形成するため、アウトフレームのグリットのデザインを採用した。 道路面には瓦屋根の門を設え、白壁筋に樹木がはみ出すように植栽をし、緑豊かな白壁にそぐう建物とした。	
Q1 室内環境 開口部にはLow-E複層ガラスを採用することで高い断熱性能を確保し、快適な住環境としている。また、シックハウス対策として全面的にF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 建物を長期利用できるように日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3を確保している。また、階高をできる限り確保し、広々とした天井高を確保している。
LR1 エネルギー 建物外皮性能は日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を満たし、一次エネルギー消費性能についても建物全体のBEIが0.88。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや節水型便器の採用により環境負荷低減に寄する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)東区白壁4丁目計画

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	3.8	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				3.1
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上			
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.7



2. 自然共生

評価点 = 3.1



3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。